

発行:NPO法人ワークセンターいちい どんぐり工房 編集:佐藤礼佳・石田祐一・種子島彩 令和8年1月 (ホームページ) http://www.ob2.aitai.ne.jp/~donnguri/ (Eメール) ichii-06@ob3.aitai.ne.jp		
・どんぐり工房	瑞浪市陶町水上669番地の1 〒509-6362	☎0572-62-1230 Fax0572-62-1231 (Eメール) donnguri@ob2.aitai.ne.jp
・第2どんぐり工房	瑞浪市寺河戸町1087番地の1 〒509-6121	☎0572-56-1130 Fax0572-56-1131 (Eメール) donnguri@iaa.itkeeper.ne.jp
・わごうホーム	瑞浪市薬師町2丁目34番地の1 〒509-6135	☎・Fax 0572-67-5571 (Eメール) wagou2018@ob.aitai.ne.jp
・学園台ホーム	瑞浪市学園台2丁目13番地の6 〒509-6106	☎・Fax 0572-51-2809
・上野ホーム	瑞浪市上野町3丁目45番地の2 〒509-6125	☎・Fax 0572-51-7147(開設準備中)

どんぐり工房だより 新年号

《 新年のご挨拶 》

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は地域の皆様、ご利用者様、ご家族様そして関係機関の皆様に支えられ充実した一年を過ごすことができました。心より感謝しお礼申し上げます。

本年も「住み慣れたこの町で共に生きる」を合言葉に、安心で安全を第一により良いサービスの提供ができる施設運営に努めてまいり所存です。

昨年着工しました3ヶ所目となるグループホーム「上野ホーム」が、この2月末には完成し4月から運用を開始する予定となっています。入居者ご家族様のご理解ご協力と関係機関の皆様に改めてお礼申し上げます。

地域の皆様の温かいご理解に支えられ、この場所で共に暮らし、共同生活をする事で自立に向けた歩みを進めていけるような居場所になることを願っています。

本年は、60年に一度巡ってくる「丙午」の年です。火のエネルギーが重なる情熱的で勢いのある年であり、又大きな飛躍が期待できる年でもあるとされています。

職員一同、知恵を出しあい精力的に新しい事業にも挑戦し大きく飛躍できる。そんな年にしていきたいと思っています。

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、本年も変わらぬご理解とご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年元旦

NPO 法人ワークセンターいちい
理事長 石川 文俊





利用者さんが書いた願い事、叶うかな？

七夕 たなばた



七夕の活動では、陶どんぐりでも第2どんぐりでもおやつを食べました。毎日のお仕事の息抜きになったと思います♪



第2どんぐり工房では、課外活動として化石博物館への来訪も行っています。

資料を見たり、工作をしたり、毎日仕事が大変なB型利用者さんにとっての楽しみになっています。

BCP 訓練

7月21日にどんぐり工房では初めての試みとしてBCP訓練を実施しました。

災害時などの緊急事態が発生しても、事業停止させない、早期に復旧させるための計画がBCP(ビジネスコミュニティプラン)です。

今回は午前中の数時間に「避難中」という想定で電気が使用できない、トイレの水が使用できない中で支援員と一緒に利用者さんも過ごしました。

簡易トイレの練習や非常食など、不便な環境を体験することで、もし災害にあった時でも少しでも柔軟に対応できるように今後も訓練の実施を計画しています。

午後は頑張って下さった利用者さんに軽食を振る舞い、召し上がってもらいました。



避難訓練の様子



施設内で余暇活動をしたり支援員と会話したりしつつ2時間ほど過ごしました



非常食の準備



非常食の体験



フライングディスク教室



令和 7 年 6 月からフライングディスク教室を始めました！

毎月数名の先生たちが指導に来て下さり、おかげさまで利用者さんもどんどん上達しています。いつかどんぐり工房から大会に参加できる利用者さんも出てくるかもしれません！



車椅子に乗っていてもできるため B 型の利用者さんだけでなく、生活介護の利用者さんも参加しています！



“アキュラシー”という、5mまたは 7m離れた内径 91.5 cmの的に向かって 10 回投げ、通過回数を競う競技の練習をしています。





スイカわり



コロナ禍になって以降、ずっと中止していた水遊びを今年は久しぶりに楽しみました。

真夏のシャワーや水鉄砲、水風船でみんな大はしゃぎ！スイカ割りに挑戦した後は甘いスイカを食べました♪



《どんぐり工房事業方針》

あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2026 年も、より一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

さて、12 月に開催いたしました法人事業説明会では、大変お忙しい中多くの方にご参加いただき、法人の今後の方向性、今取り組んでいる新規事業等の説明を聞いていただき、ありがとうございました。特に新規事業では、自身が中心となり国庫補助協議での岐阜県庁障害福祉課との連絡、農業に関しての岐阜県農畜産公社との話し合い、伴走支援を通じた地域の高校生との交流、農作業等、今までの施設内での活動とは違い施設の外に出て活動をする事が中心になり、自分で動けば動くほど成果につながり、また自分自身の大きな責任につながるという大変勉強になる時間になりました。

また、農業におきましては、補助金で購入させていただいた農機具を使い、ネギを中心とした栽培を予定しており、ジャガイモ、里芋等、初心者でも作りやすいもの、また加工適性の高い物から始めていく予定です。しかし、最初から何も挑戦しないことは、発展のきっかけにもならない為、岐阜県に昔からある在来種、飛騨美濃伝統野菜のあじめこしょう、菊ごぼう、国府ナス等の栽培も始めていく予定です。また、おすすめの野菜がありましたら教えていただきたいと思います！今年もよろしくお願いいたします。

障害福祉サービス事業所 どんぐり工房
施設長 加藤 智大



《編集後記》

新年あけましておめでとうございます。改めまして昨年度は大変お世話になりました。支援員として昨年度は行事活動に力を入れることができましたと思っています。保護者さんからの活動費のご協力もあり、どんぐり工房便りで紹介しているような活動を行うことができました。就労継続 B 型の利用者さんは社会見学や買い物実習のような課外活動、生活介護の利用者さんは施設内での活動や誕生日外出にも活動費を使用させていただきました。

令和 8 年度も引き続き活動へ注力させて頂きながら、新しいグループホームの設立、農作業などの新事業のご報告などもしていきたいと思っています。これからも皆様の暖かい応援を頂けたなら幸いです。

生活支援員 佐藤 礼佳